

## 期日指定定期預金規定

### 1. (預金の支払時期等)

- (1) 期日指定定期預金は、預金証書（または通帳）記載の満期日以後に利息とともに支払います。
- (2) 満期日は、この預金の全部または一部について預入日の1年後の応答日（預金証書または通帳記載の据置期間満了日）から預金証書（または通帳）記載の最長預入期限までの間の任意の日を指定することができます。満期日を指定するときは、口座開設店（以下「当店」といいます。）にその1か月前までに通知をしてください。この預金の一部について満期日を定めるときは、1万円以上の金額で指定してください。
- (3) 満期日の指定がないときは、預金証書（または通帳）記載の最長預入期限を満期日とします。
- (4) 指定された満期日から1か月经過しても解約されなかったときは、満期日の指定はなかったものとします。指定された満期日から1か月以内に最長預入期限が到来したときも同様とします。

### 2. (利息)

- (1) この預金の利息は、解約時に預入日から満期日の前日までの期間および次の預入期間に応じた利率によって1年複利の方法で計算し、この預金とともに支払います。
  - ① 1年以上2年未満の場合…預金証書（または通帳）記載の「2年未満」の利率
  - ② 2年以上の場合…預金証書（または通帳）記載の「2年以上」の利率（以下「2年以上利率」という。）
- (2) この預金の満期日以後の利息は、満期日から解約日または書替継続日の前日までの日数について解約日または書替継続日における普通預金の利率によって計算し、この預金とともに支払います。
- (3) この預金を定期預金共通規定第4条第1項により満期日前に解約する場合は、その利息は、預入日から解約日の前日までの期間について次の預入期間に応じた利率（小数点第4位以下は切捨てます。なお、解約日における普通預金の利率を下回るときは、解約日における普通預金の利率とします。）によって1年複利の方法により計算し、この預金とともに支払います。
  - ① 6か月未満……………解約日における普通預金の利率
  - ② 6か月以上1年未満……………2年以上利率×40%
  - ③ 1年以上1年6か月未満……………2年以上利率×50%
  - ④ 1年6か月以上2年未満……………2年以上利率×60%
  - ⑤ 2年以上2年6か月未満……………2年以上利率×70%
  - ⑥ 2年6か月以上3年未満……………2年以上利率×90%
- (4) この預金の付利単位は100円とします。

この預金には、本規定のほか、「定期預金共通規定」が適用されるものとします。

以 上  
(2020/07/01 現在)